

令和3年度
事業計画書



令和3年4月1日
社会福祉法人カリタスの園

令和3年度社会福祉法人カリタスの園事業計画書

法人の基本理念

社会福祉法人カリタスの園は、「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。」(マタイ25:40)

とのキリスト・イエスの「御言葉(みことば)」に基づき、カリタス(愛・やさしさ・あたたかさ)の実践により、一人ひとりが大切にされる社会を実現させるために創設された。職員は相互にその主旨を日々生きることにより、人格の円熟と専門的技術の向上を目指しつつ、利用者の適切なニーズに応えるため、明るい生活へのサービス支援を提供し、ゆだねられた業務に励まなければならない。

職員倫理綱領

① 人格の尊重

わたしたちは、利用者一人ひとりをかけがえのない存在として認め、いかなる差別、虐待、人権侵害も許さず、人としての権利を擁護します。

② 質の高いサービス提供

わたしたちは、利用者一人ひとりの個性や主体性・可能性を尊重し、カリタスの実践を通して、質の高いサービスの提供に努めます。

③ 地域に開かれた施設・事業

わたしたちは、各地域において、地域社会と連携を図りながら、安心と信頼で結ばれる開かれた施設・事業を目指します。

④ 職員の資質

わたしたちは、福祉施設職員としての役割と使命を自覚し、利用者一人ひとりに適切な支援が提供できるよう、人格の円熟と専門的知識と技術の向上に努めます。

⑤ 環境の整備・保護

わたしたちは、利用者一人ひとりが安全で快適な過ごしやすい生活の場(環境)を提供し、いのち・自然を守るため環境保護に努めます。

1. 法人運営と経営及び組織力の強化

当法人は乳児院2か所、児童養護施設4か所、高齢者施設4か所、保育所8か所が業種間の連携を大切にしながら、法人の理念に基づき施設のヴィジョン・ミッションを年間活動計画に取り入れて事業を運営する。今年度も職員の倫理綱領により、権利の擁護、利用者への質の高いサー

ビスの提供、地域に開かれた施設、職員の資質向上、環境の整備・保護、施設でできる SDG s に取り組みます。

法人に設置されている「人権擁護室」及び「人権擁護委員会」は、年3回開催。4か月ごとの施設の取り組みや問題に対して討議分析し施設にフィードバックする。今後も、人権擁護について施設の取組みを報告し、法人の基本理念であるカリタス（愛・やさしさ・あたたかさ）の実践により、一人ひとりがかけがえのない存在として認めあい、人権擁護のさらなる向上に励む。

法人全体の研修会を充実させるため、企画を運営する。それぞれの業種の代表で委員を構成し、年数回集まってカリタスの理念に向かうために、研修会の内容を工夫し、提案する。昨年はやむを得ず中止となったが、今年度はコロナ禍であってもできる工夫をしたい。委員として参加することによって、自ら学び、前向きに取り組む積極的な姿勢が法人全体の職員育成につながる。

この2年間働き方改革関連法が順次施行され、国の方針により近づくよう努力してきた。事情に応じた多様で柔軟な働き方を選択できるようにするための改革。年次有給休暇や看護休暇・介護休暇など休業・休暇が取得しやすい環境。また、待遇に納得して働き続けられるようにすることで、多様で柔軟な働き方を選択できることを目的とする、公正な待遇の確保等がもたらされた。その目的に近づけるよう、規程の見直しによる柔軟な労働時間や休暇・休憩がとりやすい時間単位有給休暇の導入をした。運用の周知をすることで、一層柔軟な働きができる職場、環境づくりに取り組んでいく。

社会福祉法の制度改正により、外部会計監査人の監査が始まった。年間を通じて訪問があるため、内部統制の整備・運用について指導を受けることができる。今後も監査を実施することにより、計算書類の信頼性の向上とガバナンスの強化、社会的信頼性の向上につなげたい。コロナ感染症のまん延防止から拠点往査ができなかった。期中往査の拠点へのヒアリングをオンラインで十分対応できる環境を整える。今ある人員体制の中で不正や事故が起こりにくい体制づくり、内部統制のチェック機能を確立していきたい。

2. 人材育成

法人の理念を実現するために、法人内職員研修会の充実に取り組む。研修委員を中心に年数回の委員会を開催して、内容を検討する。令和3年度は、ここ数年開催していない新任職員研修会を宮崎市カリタスの園で実施予定。コロナ禍にあってもできることはないか。十分検討したい。事業発祥の地である宮崎市では、歴史資料館等での学びを通して、法人名称のカリタスの園の起こりを知る。松の寮の建設と聖堂工事が終了したため新任研修会は3年ぶりの実施となる。研修委員の積極的な意見交換により、法人の理念にもとづいて「カリタスに生きる ～宗教的な取り組み～」をテーマに開催する。施設の取り組み発表は、行事の振り返りができ、あらためて気づきが与

えられる。新しい発見として刺激を受け、施設に持ち帰るなど、マンネリ化を回避することができる。また、職場だけでなく、同じ理念をもった他施設の仲間との交流も大切にしながら、人材の定着と育成につなげていきたい。

総主任、主任研修会の継続をする。主任としての役割を十分に発揮できるよう学びを深める。新しく主任の役割を担った者が、戸惑っているなか、互いに交流ができる場や、業種別グループワークで同じ悩みや問題を共有できる場として大事にする。人事考課制度の導入により、考課者としての取り組みに悩む声が多い。各施設では、専門職が増え、施設内における役割分担や、業務内容にも違いがでてきたため、考課シートや考課項目についての検討を行っている。一人ひとりの能力や実績を公正に評価し、仕事の向上につながることを願って取り組みたい。より働きやすい職場環境づくりに活かされ職員が活き活きと働くことができることにより、利用者の満足度の向上につながることを目指していきたい。

3. 施設整備と中長期計画

児童福祉施設は、小規模化の実現に向けて取り組んでいる。乳児院東京つぼみの寮は、定員45名とし、家庭復帰及び家庭的養育の体験ができるように、施設内部の改装を行うなど環境を整えてきた。杉並区ショートステイ事業の一旦として、現在実施している要支援家庭を対象にした子どもショートステイは「宿泊型」であるが、これに対して「日帰り型」ショートステイ事業を令和3年度より実施することとなった。宮崎つぼみの寮の子ども家庭支援センターつぼみは、コロナ禍にあっても、宮崎市からの依頼で家庭訪問数が増えているため、継続して対応していけるよう体制を整えていく。

児童養護施設は、地域小規模児童養護施設を増やして、小規模化を図り、児童へのきめ細やかな支援をおこなっている。子どもたちは落ち着き、生活基盤が少しずつ整ってきている。今後は、園内小規模の充実により、より家庭的な環境に近づけていきたい。

天使育児園は地域小規模4棟目を4月から開始予定。良い物件に恵まれ、地域分散化を図り、子どもたちの良い処遇と環境整備に取り組みたい。感染症予防対策のため、補助金で集会室の改修工事を行なった。感染症に十分対応できる環境を整えることができ、災害避難所としての機能も果たすことができるため、感染防止と地域貢献としても取り組んでいきたい。今後もコロナ感染症対策を十分に行いながら、子どもたちの生活でまだまだ制限がある中、子どもたちの最善の利益を追求しながら安心・安全で家庭的な雰囲気の中で子どもたちの成長を見守っていきたい。

保育園は、令和元年10月から幼児教育・保育の無償化が全面的に実施された。保育料無償化の実施に伴い、対象とならない給食費の徴収が開始された。金額や徴収の方法は、保育園ごと違う。事務処理が増えているため、徴収方法を工夫する必要がある。負担軽減をおこなっている地方自治体もある。国は「新子育て安心プラン」により令和3年度から6年度末までの4年間で14万人の保育の受け皿を整備することを目標としている。待機児童の解消や、保育の質の向上、保育士の処遇改善についての取り組みが必要である。処遇改善等加算2による賃金改善の対象と

なる職員は、一定の研修を修了していることが要件の一つである。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行による研修実施及び及び受講への影響があったため、計画どおりの受講は難しかった。引き続き受講に努めたい。新年度も感染リスクを抱えての保育となるが、感染症予防対策を徹底しながら日々の業務をはたしていく。園の円滑な運営と質の向上、地域に必要とされる保育園として努めていきたい。

施設整備のための借入金償還は今年度も計画とおり進めていく。カリタスの園の事業所は年々老朽化に伴い、改修工事を行いながら建物管理を行っているが、いずれ建て替えが必要となる。建設資金の長期計画を進めていく。

各事業所の令和3年度の施設整備等は別紙2-2に記載している。

4. 地域との連携

社会福祉法人は「地域における公益的な取組」の実施は責務であり、各法人が創意工夫をこらした多様な取組を推進しなければならない。

昨年より、施設の事業計画書に、地域における公益的な取組を記載することとした。各施設では、地域の情報を収集し、取組内容を検討し、地域において少子高齢化を踏まえた福祉ニーズに対応するサービスを充実していく。

東京つぼみの寮が杉並区の委託で行っている要支援家庭対策ショートステイ事業は、地域支援として継続していく。令和3年度から同じ「日帰り型」の要支援家庭対策ショートステイ事業を追加開始する。

高齢者施設の中では、地域によっては定員に対する入所者の割合が高くない施設がある。収容の余力がある場合に限り契約入所を認める取り扱いが認められている。地域における公益的な取組の促進として、生活が困難な低所得者の高齢者に対する地域における受け皿として継続する。松の寮では、外部サービス型から一般型に移行した。利用者に対して包括的に介護サービスを提供でき、増加する要介護高齢者への対応をより柔軟に行うことができている。今後も多様化する地域課題の取組を促進していく。社協の取組に連携し、自然災害による被災地支援に対応できる備えや体制作りにも努めていきたい。また、災害時に自力で非難するのが難しい高齢者等についての避難計画の策定にも努めたい。

各事業所の地域における公益的な取組は別紙2-3に記載している。

5. 令和3年度定時評議員会、理事会の予定

評議員会・理事会		
会議名	開催日	開催場所
理事会	令和3年 6月11日(金)	法人本部
定時評議員会	令和3年 6月26日(土)	〃
理事会	令和3年 6月26日(土)	〃

理事会	令和3年12月18日(土)	"
理事会	令和4年3月26日(土)	"

6. 外部監査、内部監査、委員会、研修会予定

名称	開催日程	開催場所
外部会計監査	年間を通して実施	本部、拠点
内部監査	年間を通して実施	拠点
人権擁護委員会	4半期に1回	本部
研修委員会	年2回	宮崎市ほか
法人内研修会	職員研修会 年1回	宮崎市
	新任施設長研修会 年2回	本部ほか
	新任事務員研修会 年2回	本部ほか
	施設長研修会 年2回	本部ほか
	総主任・主任研修会 年1回	未定
	事務員研修会 年2回	宮崎市
	業種別研修会 必要に応じて	法人内事業所

7. 工事及び物品購入

名称	金額	備考
排水設備改修工事	3,000,000円	

本部・乳児院・児童養護施設・高齢者施設

別紙2-2

令和3年度 拠点別施設整備等予定一覧

No.1

施設名	施設整備	予定額	備品	予定額	財源等
本部	排水改修設備工事	3,000,000			拠点繰入金
		3,000,000		0	
東京つぼみの寮	2階サンルームオーニングテント張替	329,670	シエスタベベ スマート(3台)	379,500	措置費
	職員寮2階隔離室 監視カメラ	296,700	災害対策用トイレハウス	167,200	
	本館1・2階ワックス	300,000	災害用誘導式折畳みトイレ台座	112,200	
	リフト修理工事	226,600	体験室エアコン取り換え	120,000	
			第三者評価受審	300,000	
		1,152,970		1,078,900	東京都補助金
宮崎つぼみの寮	自動火災報知設備取り換え	627,000	第三者評価受審	300,000	県補助金
	居室フローリングマット等張替	500,000			措置費
	園庭通路舗装工事	2,000,000			
	建物設備定期検査・特定建築物検査	350,000			
	3,477,000		300,000		
小百合の寮	緑地のグリーン植栽	1,500,000	コモンセンスペアレンティング・ライセンス等費用	1,000,000	措置費
	各室エアコンクリーニング	900,000		600,000	
	本舎外壁クリーニング	700,000	第三者評価受審		
		3,100,000		1,600,000	
白百合の寮	橋梁補修工事	5,783,000	第三者評価受審	300,000	措置費
		5,783,000		300,000	
竹の寮	グランド・車道の境界ブロック側溝改修	4,800,000	厨房食器消毒保管器	600,000	措置費
	ファチマ改修・塗装	800,000			
		5,600,000		600,000	
天使育児園	耐震化補強工事	1,000,000	自動車	2,200,000	措置費
			厨房コールドテーブル	500,000	
		1,000,000		2,700,000	
松の寮			ハイエースワゴン	3,500,000	措置費 施設整備等積立資産取崩充当
			ルーミー 5人乗り	1,750,000	
			電動ベッド	4,000,000	
		0		9,250,000	
紅葉寮	居室ルームエアコン3台分	600,000	1階ワーカー室用パソコン	100,000	措置費
	天井修理(地域交流センター・聖堂)	120,000	非常灯機器取替	800,000	
	雨漏り塗装	400,000			
	厨房手洗い(自動)	70,000			
		1,190,000		900,000	
聖ヨゼフ寮	揚水ポンプ系統交換工事	7,700,000			措置費
	1階居室エアコン交換工事	1,805,837			
		9,505,837			
ケアハウスかおり	講堂LED照明交換工事	2,000,000	多目的ホール放送設備一式	1,000,000	運営費
		2,000,000		1,000,000	
	合計	35,808,807	合計	17,728,900	

保育所

別紙2-2

令和3年度 拠点別施設・設備整備予定一覧

No.2

施設名	施設整備	予定額	備品	予定額	財源等	
宮崎 ドンホスコ保育園	和太鼓 皮の張り替え	500,000	エアコン	1,000,000	委託費	
			テレビ	500,000		
		500,000		1,500,000		
松本 ドンホスコ保育園	園舎南側外壁塗装補修工事	3,784,000	第三者評価受審	250,000	委託費	
		3,784,000		250,000		
かおり保育園	新型コロナウイルス感染対策	3,000,000	第三者評価受審	500,000	委託費	
	保育室床改修工事	4,620,000	ノートパソコン(園長用)	200,000		
	外壁塗装・補修工事	18,000,000	玩具殺菌乾燥保管庫	350,000		保育所施設・設備整備積立資産取崩充当
		25,620,000		1,050,000		
聖アンナの園			砂場屋根固定式テント	310,000	委託費	
			砂場カバー	260,000		
			倉庫の購入	300,000		
				870,000		
めぐみの聖母 保育園	駐車場整備	300,000			委託費	
	遊具修繕	300,000				
		600,000		0		
笠利聖母保育園	外壁洗浄柵取り付け工事	1,500,000			委託費	
	トイレ改修工事	700,000				
	倉庫改築工事	300,000				
	プレハブ設置	700,000				
		3,200,000		0		
親愛園		0		0		
聖心保育園			空調機 6機(保育室2室)	3,000,000	委託費	
			保育ITCシステム	2,000,000		
				5,000,000		
	合計	33,704,000	合計	8,670,000		
	総合計	69,512,807	総合計	26,398,900		

令和3年度 地域における公益的な取組

別紙 2-3

施設名	取組名称	取組内容	取組の実施場所
乳児院 つぼみの寮 (東京)	保育養成校実習受け入れ	実習生の受け入れによる福祉人材育成	各部屋
	コミュニティ広場の開放	広場開放による地域のサロン奨励	コミュニティ広場
	地域子育て相談支援	子育て相談メール・電話連絡	専門職 地域支援チーム
	カリタスふれあいフェスタ	退所児童・職員・地域との交流支援	園庭
	寄付型自動販売機の設置	小児がんの子どもたちへの寄付支援	
	乳児院で働く専門職	実習生へ、里親制度、心理士	応接間
	つぼみサロン	里親子の交流・アフター支援	コミュニティ広場
乳児院 つぼみの寮 (宮崎)	なかよしタイム 子育てサロン	無料・または低額による親子サロン育児 相談	地域交流スペース
	ひまわり広場	親子の遊びスペース（室内）の無料開放	
	実習生の受け入れ	福祉人材の育成	各部屋
	夕涼み会（青葉地区との 合同共催）	町内会と合同にて、夕涼み会	カリタスの園
	子育て応援フェスティバル	フェスティバル（県主催）への参加協力	宮交シティ
児童養護施設 小百合の寮	実習生の受け入れ	年間45名の実習生の受け入れによる福祉人材 の育成	各ホーム
	車いすの貸出	杉並社協より1台預かり、無料貸し出し事業の 実施	杉並区
	CSP 親講座	地域の子育て支援として CSP 幼児版講座 2 回 実施	地域交流室
児童養護施設 竹の寮	里親登録実習の受け入れ	里親登録のための実習受け入れ	各ホーム
	実習生の受け入れ	実習や研修生などの受入れによる人材の育成	各ホーム
	里親サロン実施	地域の里親さんを施設に招き情報交換会 子育てに関する助言	ホール
	夕涼み会	地域の方を施設に招き、盆踊り・花火大会・模 擬店などで地域交流を行う。	園庭
	竹の寮バザー	敷地内を開放し、品物を超格安で提供しゲーム や模擬店などで地域交流を行う。	
	オレンジリボン たすきリレー	オレンジリボンをたすきに仕立て、リレーしな がら走ることにより、子ども虐待防止への県民 の関心を高める。	宮崎県沿線

施設名	取組名称	取組内容	取組の実施場所
	歩こう会	地域の子供たちとともに、竹の寮から臨海公園まで7kmを歩き、到着後ゲームなどをして交流を深める。	臨海公園
児童養護施設 白百合の寮	実習生受入れ 里親希望者への実習受入れ	実習や研修生などの受け入れによる福祉人材の育成 実習生→年間15名程度 里親実習→年間15名程度	本園
	園主催行事に地域も参加してもらう	サマーフェスティバル・運動会・クリスマス会 バザー・卒業祝い・送別会	本園
	奄美市要保護対策協議会	責任者会→年間1～2回	奄美市役所
	龍郷町要保護対策協議会	実務者会→年間2～3回	龍郷町役場
	外部ケース会議参加	家庭支援・主任・担当者等が各種ケース会議（奄美市主催の保護者の担当者等）に参加し実情説明・協議・対策を話し合う	
	里親制度促進事業	①児童相談所の担当職員と共に、各市町村（離島も含む）へ出張説明会 ②福祉大会や市の行事にてチラシの配布 ③特設ブース設置・説明 ④里親認定会議の役員 ⑤里親サロン開催 ⑥レスパイト事業 ⑦里親家庭訪問指導	
	施設退所者への支援	①施設退所後の資格取得支援（手続きと一緒に寄り添う）各種サポート支援者との継続的なケース会議・連絡相談 ②各種学校卒業までの様々な生活・相談支援 ③生活・仕事に関する相談・自立支援（必要なら生活費支援）	
	奄美市ショートステイ事業	ショートステイの受け入れ	奄美市
	宇検村ショートステイ事業	ショートステイの受け入れ	宇検村
AEDの設置	施設にAEDを設置し地域の方にも利用してもらう		
児童養護施設 天使育児園	実習生の受け入れ	実習生の受け入れによる福祉人材の育成	各クラス
	施設退所者への継続的な支援	地域の要支援者に対する相談支援	本園または訪問先もしくは関係機関
	地域交流バザー	地域の近隣住民の方向けのバザー開催	本園
	子ども会行事	北九州市・門司区の子ども会連合会と協力した行事開催	子ども会指定場所 小倉城等
	里親登録実習の受け入れ	里親登録のための実習受け入れ	各クラス
	外部ケース協議参加	主任指導員・担当者・FSW等が各種ケース協議に参加して、協議・対策を話し合う	市役所・区役所 子ども総合センター
	北九州市ショートステイトワイライトステイ事業	要保護児童のショートステイトワイライトステイ受け入れ	本園
養護老人ホーム	ボランティア活動	シルバーボランティアの受け入れ	寮内

施設名	取組名称	取組内容	取組の実施場所
ム 松の寮		社会貢献と福祉人材育成	多目的ホール
	職場体験 多目的ホール開放	職場体験等の受け入れ 社会貢献	
		地域交流の場の提供・社会貢献	
養護老人ホーム 紅葉寮	行事・バザーの開催	地域老人会をクリスマス会に招き、交流してニーズ等を把握する 地域住民に開放し、相談しやすい関係の構築を図る	寮内
	クラブ・体操への招待	地域の高齢者を対象にクラブや健康体操へ招待し生きがいづくり、介護予防に努める。	
	災害時に備えた地域のコミュニティづくり	地域の防災訓練に参加し、地域住民と連携した防災体制の構築を図る。	北中公民館
養護老人ホーム 聖ヨゼフ寮	実習生の受け入れ	福祉人材育成	施設 1.2 階
	園庭開放	夏休みのラジオ体操	園庭
	災害時の相互協力	地域住民の方と総合避難訓練を実施し、連携して防災及び避難体制の構築	園庭・集会室等
	喫茶・バザーの開催	喫茶・バザー開催時によってコミュニティ作りと地域との連携強化	食堂・集会室等
	契約入所	生活困窮者住居提供	施設居室
経費老人ホーム ケアハウス かおり	災害時に備えた地域とのコミュニティづくり	自治会の情報を得る 災害発生時の協力などについて意見交換をする（炊き出しの実施）	リハホール他
	災害時の地域への貢献	できるだけ多くの職員が「災害サポーター講習会」に参加し、施設全体で防災に対する知識を深める	
	『こども 110 番の家』への協力	地域の子供たちを守り育てるために、三重小学校育友会の『こども 110 番の家』事業に協力する	施設・地域
	地域の方々との交流	地域の行事や施設の行事を通して交流する	施設・地域
保育園 ドンボスコ保育園（宮崎）	実習生の受け入れ	実習生やインターンシップ研修生の受け入れによる福祉人材の育成	本園
	図書の貸出	図書コーナーや図書室での絵本の貸出	
	園庭開放	土曜日 午前中の園庭開放	
	子育て相談	乳児の病気や育児・離乳食等・特別支援についての看護師・保育士への相談	
	ミニコンサート	外部の音楽グループを招いての親子で楽しみ	

施設名	取組名称	取組内容	取組の実施場所
		る小さな音楽会の開催	
	地域交流	老人ホーム慰問(4回)地域の盆踊り・運動会・敬老会・コミセン祭りへの参加	各施設
	美化活動	いつも散歩している遊歩道の清掃・海岸の美化活動を通しての地域貢献	遊歩道 臨海公園
	エコを通しての地域活動	廃品回収・ペットボトル・廃油の回収 活動内容の掲示や園だよりでの報告	掲示板 回覧板
ドンボスコ 保育園(松本)	実習生の受け入れ	福祉人材の育成	本園
	一時預かり事業	地域の子育て支援	
	職場体験学習の受け入れ	福祉人材の育成	
聖アンナの園	各種ボランティア・実習生の受け入れ	職場体験や実習生の受け入れによる福祉人材の育成	本園
	赤い羽根共同募金	ゆり組・ばら組の募金活動	大船駅東口
	ハピネス保育室との交流	運動会・クリスマス会・生活発表会のリハーサル・観劇への招待	本園
	各行事への招待	近隣の人たちや知人を行事に招待	
	環境整備	年長児と一緒に道路の清掃	園周辺・遊歩道
	園庭開放	掲示にて開放のお知らせ・遊具の提供	園庭
	子育て相談	見学者への案内と説明・子育てのことについての相談	本園
かおり保育園	実習生・ボランティア 中学生職場体験受け入れ	職場体験や実習生の受け入れによる福祉人材の育成	本園
	地域子育て支援活動	「ひなたぼっこ」離乳食試食会・園庭開放	
笠利聖母 保育園	実習生の受け入れ	実習生・体験学習・地域施設学習受け入れ等による福祉人材育成	各クラス
	一時保育 短時間保育	家庭のニーズに合わせ、必要時間契約の中で乳幼児を預かる子育て支援	
	ボランティアの受け入れ	申請者の時間・内容を確認し、年齢・体力に見合った仕事内容で協力して頂く。 ※社会福祉施設の理解認知の広がりや透明性の目的がある	園舎内外
	地域災害時避難所	奄美市の要請に応じ災害時の避難受け入れ所として施設を開放する。	必要スペース
めぐみの聖母 保育園	実習生の受け入れ	実習や研修等の受け入れによる福祉人材の育成	本園
	一時預かり	保育園利用者以外で保育ができない時に支援	

施設名	取組名称	取組内容	取組の実施場所
		する。	
	小学校との連携	授業参観や年長児の運動会参加等	小学校
	地域行事への参加	町主催のフェスティバル参加	運動公園
	市町村関係機関との情報共有	専門機関へ相談・情報などを保護者へ提供	本園
親愛園	実習生の受け入れ	実習の受け入れによる保育士育成	各保育室
	中学生体験学習	保育士の就業体験	
聖心保育園	一時預かり保育	一時的に保育が必要な子どもの保育	本園
	園庭開放	地域の親子の園庭利用とその案内・相談	
	家庭支援	保健福祉課との連携による園児の家庭支援	
	実習生等の受け入れ	実習生・中学生の職場体験等の受け入れ	
	こども 110 番のいえ	こどもの緊急避難所的な役割（保護連絡）	
	出前保育	災害時の避難所への保育士派遣・玩具貸出	避難所
	子ども食堂	近隣の子ども食堂 他団体主催への支援	愛光園・本園